



# 卒後臨床研修センター通信

## センターの活動予定等

- ◆9月27日(木) マッチング希望順位登録中間公表前締切
- ◆9月28日(金) マッチング中間公表
- ◆9月下旬 センター通信 9月号発行



### 研修医体験談 第8回 鹿野 耕平 先生

こんにちは。1年目研修医の鹿野耕平です。まだ研修を始めて5か月しか経ってないのですが、この5か月間を振り返りたいと思います。

でもその前に軽く自己紹介します。僕は学生時代、ハンドボール部とロック研究会に所属していて、ハンドとバンドに明け暮れる日々を過ごしていました。残念ながら成績は優秀ではなかったのですが、6年生の夏休みが終わってから第一内科に入局し神経内科の専攻を決めました。そこから勉強に本腰をいれて、何とか今年の春に医師国家試験に合格することができました。

研修のスタートは救急科でした。しかも初日から当直…。日常業務については右も左もわからないような状況で、病棟・救急外来・ICUを駆けずり回り、カンファレンスではプレゼンすると上級医から厳しい突っ込みを受ける毎日でした。また週に1度は必ず当直が割り当てられており、救急車+walkin外来の対応をしなければなりません。救急車対応は上級医と一緒に診察・検査・診断・治療していくのですが、walkin外来はまず研修医が1人で問診・診察します。ある程度情報を集めてから上級医にプレゼンし検査・診断・治療に至るわけですが、優秀でない僕は問診・診察ともに穴だらけでいつも上級医に怒られていました。

救急科研修も1か月が過ぎるころには大分慣れてきて、3か月目には採血・血ガス・ルート確保などの基本的な手技の技術は向上し、CV・胸腔ドレーンの挿入なども行えるようになりました。なによりも救急科を回ったことでプレゼンテーション力が上がったことが収穫でした。また抗生剤の基本・人工呼吸器の基本も勉強することができました。

3か月間の救急科での研修を終え、次は麻酔科で気管挿管・術中麻酔管理・Aライン確保・脊髄くも膜下麻酔(ルンバル)などのトレーニングを2か月間積むことができました。1日に1~3件の手術が割り当てられ(平均2件)、2か月間で50~60例の挿管・麻酔を経験しました。将来神経内科に進むということもあり、ルンバルも数多くやらせて頂きました。

まだ救急科・麻酔科しか研修していませんがどの先生もやさしく、時には熱く指導して頂いています。また忙しい中にもon-offの切り替えがあり、仕事が終わったあとにその科の先生方だとか、入局した科の先生方だとか、同期の研修医・1つ上の研修医の先生と飲みに行ったりもし、すごく充実した研修生活をおくっています。

ざっくりとですが、僕の研修生活を紹介させて頂きました。この5か月間の医大での研修で得たものは自分にとって大きな財産になったと確信しております。もしこの原稿を読んでくださっているみなさんのなかで、医大での研修を考えている人がいましたら、少しでも参考にさせていただいたら幸いです。是非とも満足できる研修を！



## 【お知らせ】

マッチングの中間公表は**9月28日(金)**です。

マッチング中間公表前の、希望順位登録締切は**9月27日(木) 14:00**までとなっています。6年生のみなさんは、登録忘れの無いようご注意ください。なお、マッチング希望順位登録の**最終締め切り**は**10月11日(木) 14:00**です。

本院の応募書類提出締め切りは**10月5日(金)**です。

本院では7月から研修医を募集しています。**募集定員**は総合プログラム37名、小児科専門プログラム2名、周産期・産婦人科専門プログラム2名の計**41名**です。上記期日を過ぎるとマッチングによる選考ができなくなりますので、**期日厳守**にご協力ください。必要書類は卒後臨床研修センターのホームページからダウンロードできるほか、卒後臨床研修センター事務室でも配布しています。不明な点等は下記問い合わせ先に、いつでもお気軽にお問い合わせください。

## 母校の紹介 第8回 法医学講座

法医学講座は大学に所属するが、教育・研究のみならず、公的鑑定機関としての機能が求められる。鑑定とは、司法解剖、承諾解剖(法医)、生体鑑定(事件当事者の損傷検査等)、書類鑑定(写真や他の捜査資料等の検討)や、物体鑑定(DNA検査や薬毒物検査)等であり、捜査機関(警察及び検察)や裁判



所から鑑定依頼を受け、その結果を鑑定書として発行する。これらは主に裁判の資料として用いられる。その際に必要となるのが、科学的で公平な医学的判断である。当講座の司法解剖数は現在年間250体弱であるが、政府の方針では5年後に約500体を目標としており、常勤医師1名では極めて厳しい現状である。昨年は東日本大震災被災地検案支援活動に、法医学会から3回派遣された。戦没者遺骨DNA鑑定、事故被害者のDNA鑑定、院内危機管理への協力(DNA鑑定)、薬物事犯の捜査協力等、解剖以外にも各種鑑定を通して社会貢献している。

### 【お問い合わせ先】

旭川医科大学病院 卒後臨床研修センター  
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 TEL 0166-68-2198 FAX 0166-68-2199  
E-mail: sotsugo@jimu.asahikawa-med.ac.jp  
<http://www.jimu.asahikawa-med.ac.jp/shomu/sotsugo/> ※ホームページもご覧ください